

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学				
設置者名	沖縄県知事				

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
看護学部	看護学科			10 単位	123 単位	133 単位	13 単位	

(備考)

「学部等共通科目」欄は、本学の「教養科目」の状況を記載。

「専門科目」欄は、本学の「専門関連科目」の状況を記載。

実務経験のある教員等による授業科目の単位数(133単位)には、選択科目(24単位)及び選択必修科目(8単位)が含まれる。

必修科目のみによる実務経験のある教員等による授業科目の単位数は101単位。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

下記URLアドレスで公表。

https://www.okinawa-nurs.ac.jp/zaikousei/gakubu_syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事 玉城 康裕

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	沖縄県立看護大学外部評価委員会
役割	外部評価委員会は、本学が実施する自己点検・評価の結果について、検証及び評価を行い、本学の教育研究活動、地域貢献及び大学運営の活性化に資する提言を行う。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
名古屋大学名誉教授 愛知県立大学名誉教授	2年（R2.4.1～R4.3.31）	公立大学協会関係者
石川県立看護大学学長	2年（R2.4.1～R4.3.31）	県内外大学教員 大学経営の専門家
沖縄大学名誉教授	2年（R2.4.1～R4.3.31）	県内外大学教員 大学経営の専門家
尚学学園副理事長	R2.4.1～R4.3.31	その他学長が認める者
公益社団法人沖縄看護協会会長	2年（R2.4.1～R4.3.31）	県内保健医療福祉関係者
沖縄療育園医療技監	2年（R2.4.1～R4.3.31）	県内保健医療福祉関係者
名桜大学学長補佐	2年（R2.4.1～R4.3.31）	県内外大学教員 大学経営の専門家
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

(1) 授業計画書（シラバス）作成過程

成績評価を行う各授業科目の責任者（以下「科目責任者」という。）が、授業の到達目標を達成するために、以下の内容を定めて、授業計画書（シラバス）を作成する。

- ・授業の内容や計画
- ・使用するテキスト
- ・参考文献
- ・他の授業科目との関連
- ・成績評価方法
- ・学習相談・助言体制
- ・学習指導法の工夫
- ・特記事項

各科目責任者が作成した授業計画書（シラバス）を教務委員会に諮った上で全授業科目の授業計画書（シラバス）を決定する。

(2) 授業計画書（シラバス）の公表時期・方法

大学の公式ホームページ上において、4月に公開

授業計画書の公表方法	https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1) 取組の概要

授業科目の履修方法や成績について、教務委員会において「履修規程」、「履修要領」、「成績評価ガイドライン」を定めている。

その上で、授業計画（シラバス）に記載されている「成績評価の方法」により評価を実施。

(2) 成績評価の基準

次項の(1)指標の算出方法に記載。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(1) 指標の算出方法

成績の評価、評点、評価内容の基準を以下のとおりに定めている。

(履修規程より抜粋)

評語	評点	内容	GP	判定
S	90点以上 100点以下	特に優れた成果を挙げている。	4	合格
A	80点以上 90点未満	学習目標を十分達成している。	3	
B	70点以上 80点未満	学習目標を達成している。	2	
C	60点以上 70点未満	学習目標を最低限達成している。	1	
F	60点未満	学習目標を達成していない。	0	不合格

GP : Grade Point

GPA (Grade Point Average) 計算式 :

(S評価の単位数×4点+A評価の単位数×3点+B評価の単位数×2点+C評価の単位数×1点+F評価の単位数×0点) ÷履修単位数の合計

※端数がある場合は、小数点第2位を四捨五入して算出する。

(2) 成績の分布状況

別添のとおり

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.okinawa-nurs.ac.jp/zaikousei/pages2815/
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。

- 1 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。
- 2 常識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。
- 3 看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。
- 4 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担う事ができる。
- 5 自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を有している。
- 6 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力とともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を有している。
- 7 研究的态度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を有している。

本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	沖縄県立看護大学
設置者名	沖縄県知事

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：)
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：)
公表方法：	

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/zengakujikotenken/>

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受け入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部 看護学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/rinen/)
(概要) ▼大学の目的 沖縄県立看護大学は、生命の尊厳を重んずる豊かな人間性を育成するとともに、看護に関する高度な専門的知識や技術を習得させることにより、保健医療福祉の分野において看護を科学的に実践し、人々の健康と福祉の向上に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。
▼大学の使命 本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル時代における人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的発展に寄与することです。
▼教育理念・教育目標 本学の教育理念は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会での幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献を目指します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/)
(概要) 本学は、学位授与方針（ディプロマポリシー）を以下のとおり定めている。 1 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。 2 常識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。 3 看護の専門職者に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。 4 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担う事ができる。 5 自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を有している。 6 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力とともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を有している。 7 研究的态度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を有している。 本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法 : <https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/>)

(概要)

- 1 21世紀の市民としてふさわしい知性と態度を磨くために、充実した教養科目を設定する。
- 2 多様な場や対象の健康レベルにあわせた看護実践力を身につけるため、専門教養科目から統合科目へと段階的に配慮すると共に、教育効果を考慮し柔軟な配置も行なう。
- 3 科学的思考に基づく看護実践力を身につけるため、看護の専門職に必要な知識・技術・態度を、基礎から応用へと段階的に学習するよう科目を配置する。
- 4 看護の対象となる人間を成長・発達にそって身体的・精神的・社会的側面から理解するため、周産期から老年期へと段階的に学習するような科目を配置する。
- 5 学習効果を高めるため、講義・演習及び実習など多様な学習形態の科目を組み合わせる。
- 6 本県が島嶼県であることや太平洋に開かれた地域であることを理解し、グローバルな視点とローカルな視点の両面から保健看護が実践できるよう科目を設定する。
- 7 学びを統合できる力と生涯学習能力を養うため統合科目を設定する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : <https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/policy/>)

(概要)

- 1 人の生命と健康に关心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方
- 2 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方
- 3 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に关心を持つ方
- 4 異なる文化に关心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
- 5 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.okinawa-nurs.ac.jp/pages1210/soshiki/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）																	
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計										
—	1人	—					1人										
看護学部	—	11人	11人	7人	8人	5人	42人										
	—	人	人	人	人	人	人										
b. 教員数（兼務者）																	
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計										
			0人				70人										
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.okinawa-nurs.ac.jp/daigaku/kyouu/															
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）																	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
看護学部								
看護学科	80人	80人	100%	320人	329人	103%	0人	0人
合計	80人	80人	100%	320人	329人	103%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	72人 (100%)	4人 (5.55%)	64人 (88.9%)	4人 (5.55%)
看護学科				
合計	72人 (100%)	4人 (5.55%)	64人 (88.9%)	4人 (5.55%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 琉球大学病院、沖縄県病院事業局、沖縄赤十字病院、等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関するこ

（概要）

授業計画書（シラバス）において、年間の授業計画や各科目の授業方法及び内容を記載している。

【シラバス掲載URL】

<https://unipa-web.okinawa-nurs.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関するこ

（概要）

本学を卒業するために必要な修得単位は、130 単位以上（助産師国家試験受験資格を得ようとする者は、150 単位以上）となっており、学生の修得単位数を踏まえ、学生の修得単位数を踏まえ、教務委員会の審議を経た上で教授会において審議、卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	看護学科	130 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科 ※助産師国家試験 受験資格を得よう とする者	150 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関するこ

公表方法： <https://www.okinawa-nurs.ac.jp/campus/>

⑧授業料、入学会費その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学会費	その他	備考 (任意記載事項)
看護学部	看護学科（県内居住者）	535,800円	282,000円	円	
	看護学科（その他の者）	535,800円	512,000円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

- 1 修学相談 担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
- 2 国家試験対策講座の開催（時期 6月、12月、1月）
- 3 異学年との交流

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

- 1 就職情報の提供 図書館に進路コーナー「ラーニングコモンズ」を設置し、県内外の採用情報を掲示しています。
- 2 各学年担当教員による個別進路相談
- 3 3年次と4年次との情報交換会 国家試験終了後から卒業式までの間を予定しています。
- 4 県内保健・医療機関等による職員採用説明会 3月初旬、3年次向けに本学で実施予定です。
- 5 進路意向調査の実施（4年次対象）
- 6 就職セミナー 4年次を対象に、「小論文の書き方」「面接の受け方」等について、セイナーを開催しています。
- 7 就職・進学試験案内のファイリング（4年次対象）
- 8 卒業前交流会（4年次対象） 卒業生間、卒業生と同窓生間の情報交換を行い、就職に向けた準備を行います。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

健康相談の窓口として、保健室において健康管理、疾病予防を進めています。
また、外部のスクールカウンセラーを設置し、月2回カウンセリングを実施しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/pages1210/kyouikukatudou/>